

第 80 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録

1. 日 時:2014 年 5 月 16 日(金)13 時 30 分～17 時 00 分
2. 場 所:日本機械学会 第 2 会議室
3. 出席者:飯田(東電)、西野(配管技術研究協会)、西田(MHPS)、小高(富士電機)、根岸(関電)、高野(中電)
代理者:黒板[島田(東芝)]、位田[谷口(川崎重工)]、小原[大橋(IHI)]
欠席者:堤田(日立)、豊嶋(ハブコック日立)
オブザーバ:なし
事務局:海野(記)

4. 配布資料

- 80-1 . 第 79 回構造分科会議事録(案)
- 80-2 . 構造分科会委員名簿
- 80-3 . 第 67 回火力専門委員会議事録(案)
- 80-4 . 第 68 回規格委員会議事録(案)
- 80-5 . 正誤表作成について
- 80-6 . 材料分科会からの検討依頼事項について
- 80-7 . 審議レビュー票

5. 議題

(1) 前回議事録確認

[資料 80-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。

(2) 分科会委員・役員の承認

[資料 80-2]

新任候補として黒板氏(東芝)の推薦及び再任候補の西野委員の再任意向が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会への推薦が承認された。また、島田委員が5月末の任期満了にて退任予定であることが報告された。西野副主査の委員再任に伴い副主査の互選が行われ、西野委員が再任候補として選任され次回火力専門委員会への推薦が承認された。

(3) 報告事項

(3-1) 火力専門委員会報告

[資料 80-3]

第 67 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第 79 回構造分科会報告
- ・ 委員会資料取り扱い内規案の書面投票対応について
- ・ 発電用火力設備規格エンドース審査の状況について

(3-2)規格委員会報告

[資料 80-4]

第 68 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ ホームページファイル共有システムの正式運用開始と愛称 CS キャビネットの報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(4) 審議事項

(4-1) 正誤表作成について

[資料 80-5]

規格購入者からの質問に関連し、規格内容を精査した結果、修正すべきものが見つかった。(質問は記載内容の解説を求めるものであったため、受け付けられない旨を質問者に連絡し、ご了承いただいた。)担当者にて正誤表案を作成し、次回分科会にて審議後、火力専門委員会に付議する予定。

(4-2) 材料分科会からの相談事項について

[資料 80-6]

(4-2-1) ASME Sec. VIII, Div. 1 Subsection C, Part UNF の取り込みについて

材料分科会にて検討している新規材料 CC2652 の取り込みに際して必要となる ASME Sec. VIII, Div. 1 Subsection C, Part UNF の取り込みについて検討依頼の相談があった。ASME から引用するという手法もあり、各委員で ASME を確認し、作業量等を加味して次回審議することとなった。

(4-2-2) ASME Sec2 Part D の取り込み方針について

発電用火力設備規格詳細規定 2012 の第5章 123.1.2「リストに無い材料」にて ASME Sec2 Part D をそのまま取り込んだ記載になっており、第2章で除外した材料も使用可能となることから、ASME Sec.2 Part D ではなく、本規格第2章の引用とすべきとの意見が材料分科会であったことについて、検討の相談があった。ASME B31.1 の原文では、B31.1 の許容応力表にない材料を「リストにない材料」としていくつかの必要条件を付した上で、非ボイラ外部配管に限定して使用を許可した規定であり、その条件の1つが ASME Sec. II, Part D 等の規格の仕様を満足することとされている。この規定の主旨(許容応力表にない材料使用の制限付き許可)に鑑みて、JSME 規格に取り入れていない ASME Sec. II 材を含む参照とすることは問題ないと判断される旨を回答案としてまとめ、各委員にて確認した後、相談内容に対する回答について回答方法含めて調整を予定。

(4-3) レビュー票審議

[資料 80-7]

(4-3-1) 前回レビュー票審議のフォロー

◎Ⅲ章

- ・ PHRSG-3
 - ・ PHRSG-3.1, 3.4 表現見直し。
 - ・ PHRSG-3.4 ドレン弁2重化について、国内事情も考慮して記載検討。

◎Ⅳ章

- ・ UW-51
 - ・ UW-51(a)(4)のRT代替UTの規定の取り入れ要否は、溶接分科会での審議結果を確認する。
 - ・ ASME Sec.VIII-2 の引用要否を検討する。
- ・ UHX-17
 - ・ Flanged-and-Flued or Flanged-Only Expansion を「成形シェル型(折込付フランジ型またはフランジ型)伸縮継手」に修正する。
- ・ APPENDIX 24
 - ・ 24-1(f)用語修正。
 - ・ ASME SI 値取り入れ

(4-3-2) 今回レビュー票審議

担当委員の作成した以下のレビュー票案について審議した。

◎Ⅲ章

- ・ APPENDIX B(根岸委員)
 - ・ 各委員持ち帰り内容確認し、次回取り入れ要否審議。

◎Ⅳ章

- ・ U-1～5(西田幹事)
 - ・ 特記なし。
- ・ UW-16(西田幹事)
 - ・ UW-16(e)の(1)と(2)の順番確認。
- ・ APPENDIX 26～30(高野委員)
 - ・ 26-3 の ts の定義 nominal thickness は呼び厚さ。
 - ・ 26-4.1(b)の Specification Sheet Form について取入れ要否検討。
 - ・ 26-4.1(i)「降伏応力」→「降伏強さ」。
 - ・ “shell or weld end”を“胴または”溶接端部」に修正(A-26 全般)
 - ・ 26-12.1 (a)最後の行の(b)の記号は削除
 - ・ 26-12.2(a)「最終容器の耐圧試験」→「最終の容器耐圧試験」
 - ・ 図 26-13 の ASME SI 値取り入れ

◎Ⅴ章

- ・ 123～126(飯田主査)
 - ・ 124.1.1 の高温制限の記載について再検討。
 - ・ 125.2 のボルト材料の記載について、第Ⅱ章を確認して修正。

6. 次回開催予定

日 時:2014 年 8 月 5 日(火)13 時 30 分～17 時 00 分

場 所:日本機械学会 第2会議室

以 上